



第9回 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会



《議題》

- 1 開閉会式のプログラム構成案について
- 2 各プログラムの内容について



東京2025デフリンピック開閉会式検討部会 開催状況



区分	実施日	議題
第1回	2024年11月7日	<ul style="list-style-type: none">● 開閉会式検討部会設置要綱について● 部会長等の選任について● 専門委員の選任について● 演出委員会の設置について● 演出委員会メンバーの選任について
第2回	2024年12月12日	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会のリーダーについて● 今後のスケジュールについて
第3回	2024年12月25日	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会報告について● 演出家が関わる範囲と条件について● 仕様書・評価基準（案）について● スケジュール（案）について
第4回	2025年3月28日	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会開催状況について● 演出テーマ・コンセプトについて● 開会式及び閉会式の位置づけと式典プログラムについて● 開閉会式における各プログラムの検討の方向性について● 今後のスケジュールについて● 2025年度執行体制について
第5回	2025年5月1日	<ul style="list-style-type: none">● オーディションについて
第6回	2025年6月30日（書面開催）	<ul style="list-style-type: none">● オーディション結果報告について
第7回	2025年9月16日（書面開催）	<ul style="list-style-type: none">● 演出委員会メンバーの変更について
第8回	2025年10月6日（書面開催）	<ul style="list-style-type: none">● 演出における光（照明）の効果的活用について

1 開閉会式のプログラム構成案について

- 開閉会式のプログラム構成について、以下の案のとおり実施予定

開会式

日程：2025年11月15日 16：30～19：00（予定）
場所：東京体育館（東京都渋谷区）

プログラム内容	時間
オープニング	5分
選手団入場	60分
挨拶、開会宣言	25分
デフリンピック旗掲揚	5分
光のリレー～想いを光に託して～	10分
選手・競技役員宣誓	5分
国旗掲揚、国歌斉唱	10分
アーティスティックプログラム～100年の1日～	30分
	150分

閉会式

日程：2025年11月26日 16：30～17：40（予定）
場所：東京体育館（東京都渋谷区）

プログラム内容	時間
オープニング	5分
選手団入場	20分
挨拶、開会宣言	20分
デフリンピック旗返還	5分
アーティスティックプログラム（仮称）	20分
	70分



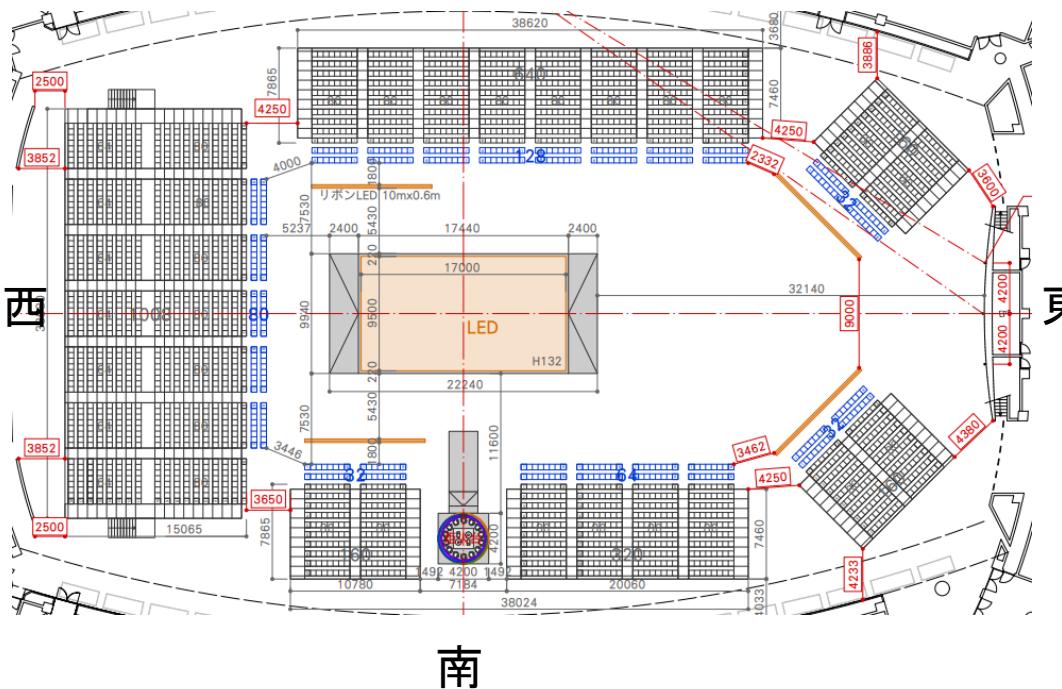
2 各プログラムの内容について 開会式ステージイメージ



開会式

- きこえない、きこえにくい人にとってわかりやすく、楽しめるステージを構想
 - 光(照明)を使い、選手や出演者を際立たせる演出を行うとともに、視覚的な方法で進行案内を補助
 - ※ステージの東西短辺にスロープを設置し、障害のある出演者も支障なく演技できるバリアフリー設計

【ステージレイアウト】



演者に対して、視覚的に進行補助する位置表示や、見て楽しめる効果的な映像演出

ステージ（床面LED） 活用のイメージ



①選手団入場

②光のリレー

《活用例》

- ①選手の進行スピードに合わせた映像
 - ①音/振動と連動して提灯がバウンスするなど視覚的に楽しめる演出
 - ②ランナーの位置を示す場ミリの役割
 - ②目で見てわかる光のリレーの効果的な演出

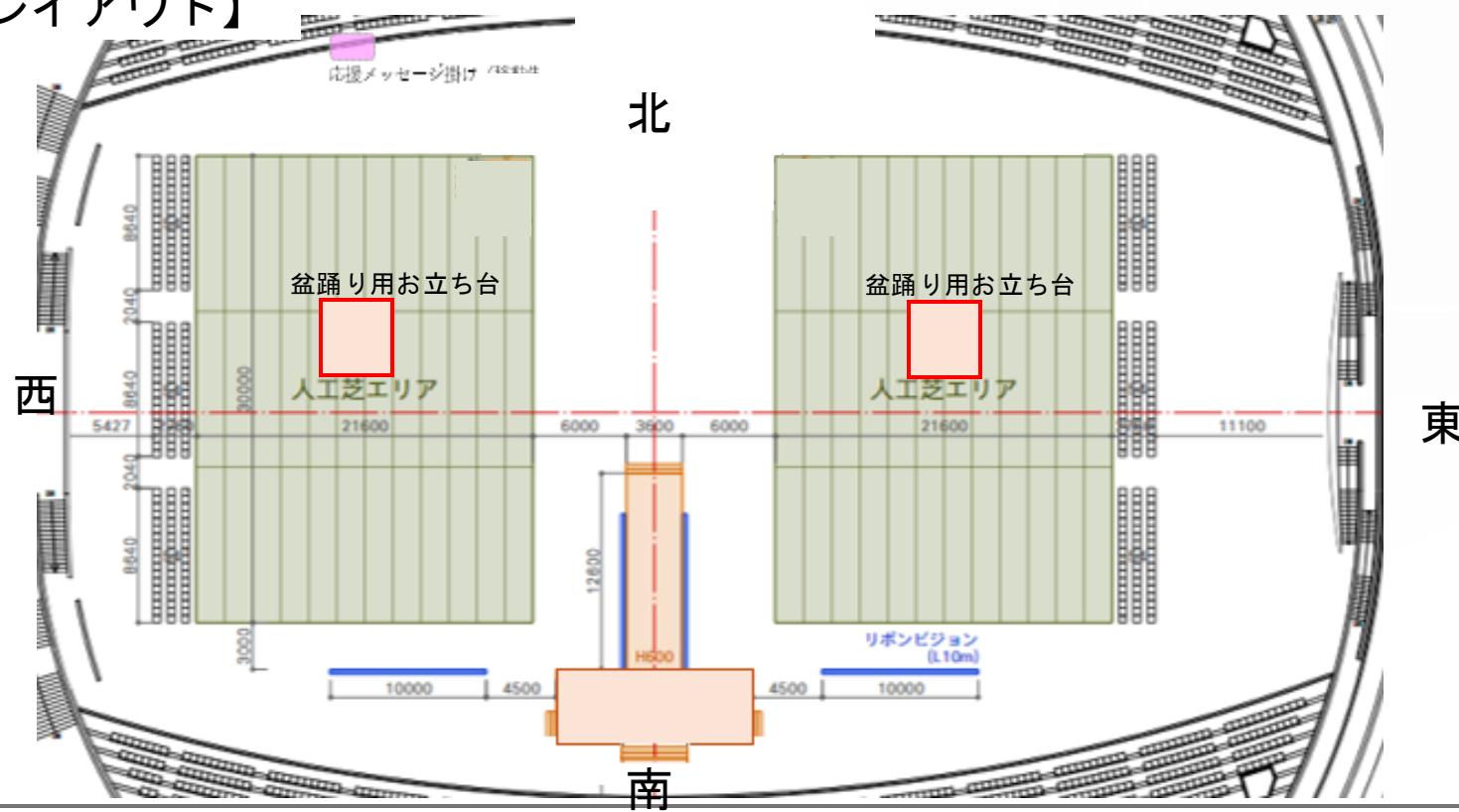
2 各プログラムの内容について 閉会式 ステージイメージ



閉会式

- 集まった選手たちが、リラックスして自由に交流し、コミュニケーションが図れるような空間を創出
- 各式典プログラムにおいて、ステージ上で行うスピーチや演技を引き立たせるため、ステージ北辺に
ランウェイ＝花道(W360xD126cm)を付設
- 選手たちと一緒に楽しむ盆踊り(アーティスティックプログラム)を先導するため、お立ち台を設置

【ステージレイアウト】



2 各プログラムの内容について 司会進行

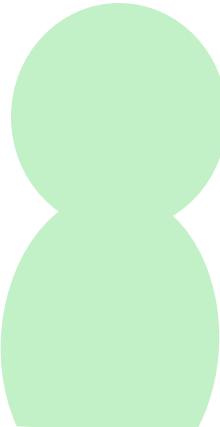
開会式

閉会式

○国際手話、日本手話言語の司会での進行

- ・国際手話に川俣郁美氏
- 日本語手話に清水愛香氏を起用
- ・音声情報、文字情報（日本語・英語）もあわせて、
国内外の誰もがわかりやすくなるように工夫

大型ビジョンイメージ



国際手話



日本語手話

《プロフィール》

栃木県生まれ。3歳でろうに。

日本財団聴覚障害者海外留学奨学金事業5期生として米国に渡り、
ギャロデット大学ソーシャルワーク学部卒業。

その後も同大学院行政・国際開発専攻修士課程に進み、修了。

日本財団にてアジアのろう者支援事業のコーディネート等を担当。

日本財団聴覚障害者海外留学奨学金事業5期生として米国に渡り、
ギャロデット大学ソーシャルワーク学部卒業。

その後も同大学院行政・国際開発専攻修士課程に進み、修了。

日本財団にてアジアのろう者支援事業のコーディネート等を担当。

栃木県聴覚障害者協会理事。デフリンピックサムスン大会に

日本選手団のサポートスタッフとして参加。



©東京都

川俣 郁美氏

《プロフィール》

石川県生まれ。3歳のときにろうとなる。

一般財団法人全日本ろうあ連盟青年部長として、
全国のきこえない・きこえにくい若者やきこえる仲間とともに、
「仲間づくり・学習づくり・要求づくり」に取り組んでいる。

世界ろう青年キャンプやアジア地域代表者会議への参加、
オンラインでの国際手話講師など国際的な活動を行うほか、
東京2025デフリンピックに向けたキャラバン企画を通じて、
デフスポーツの普及にも力を入れている。



©一般財団法人全日本ろうあ連盟青年部

清水 愛香氏

※文字情報は、床面と3階スタンド席に設置するリボンビジョンに表示予定

2 各プログラムの内容について 情報保障

開会式

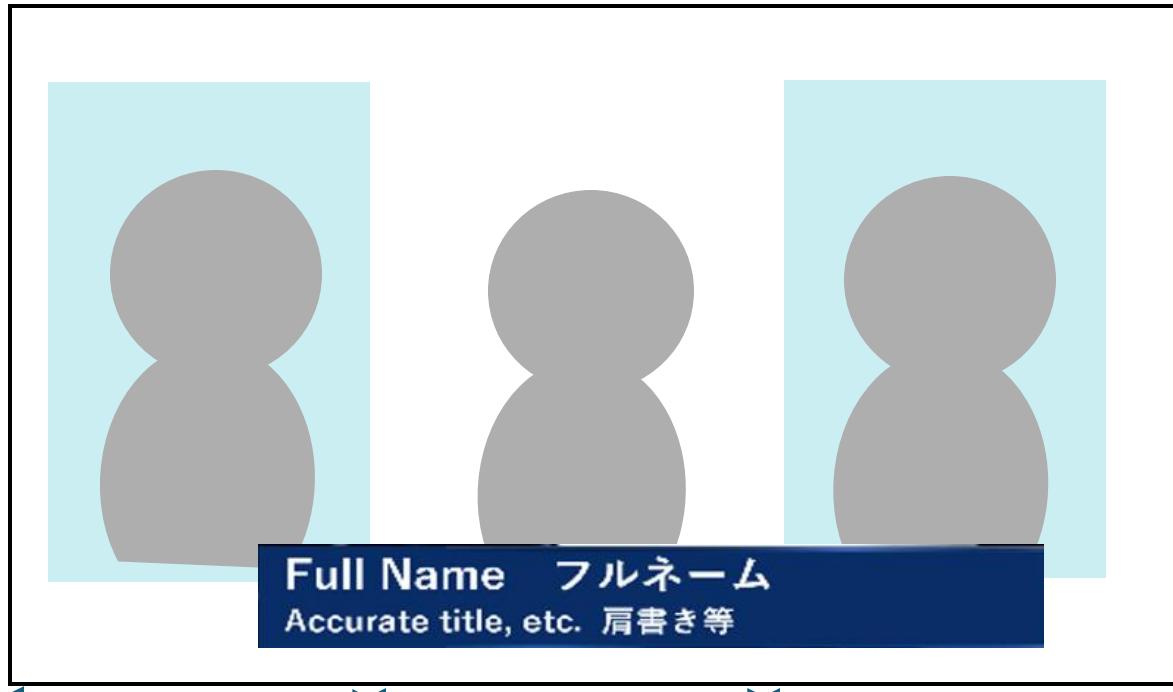
閉会式

○ 大型ビジョンの画面割のイメージは以下のとおり

※下図は、挨拶、開会・閉会宣言の場面を想定

国際手話、日本手話言語ワイプ入れ+テロップ入れ(話者が日本口話者の場合)

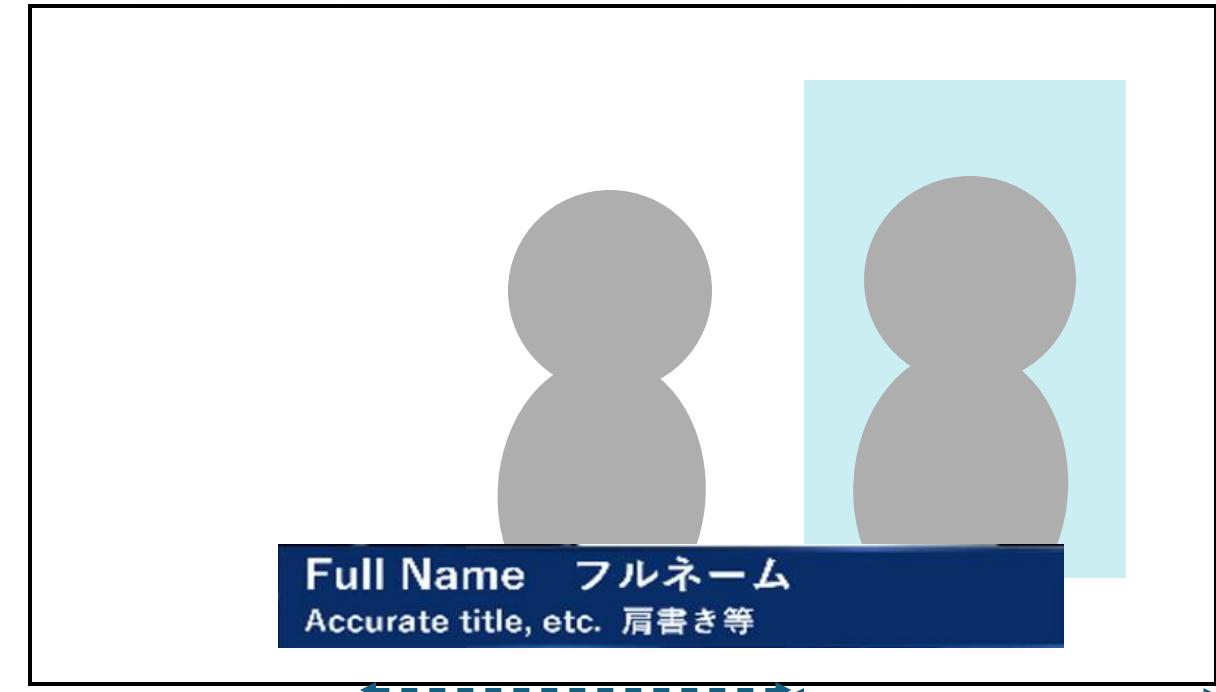
日本手話言語ワイプ入れ+テロップ入れ(話者が国際手話者の場合)



国際手話

話者
(日本口話者)

日本手話言語



話者が国際手話

日本手話言語

※文字情報（英語・日本語）は、床置きおよび3階スタンドに設置するリボンビジョンに投影予定

2 各プログラムの内容について オープニング 1



開会式

- オープニング映像は、「100周年の記念と感謝」「文化とスポーツの発信」「未来への異文化共生のメッセージ」の3つをテーマに、今井ミカ氏が監修を務める映像で式典をスタート
- オープニング映像にあわせた演者のパフォーマンスも加わり、東京大会の開始を盛り上げ、選手団入場へつなげる

閉会式

- デフリンピック・デフスポーツ・デファスリートへの賞賛
- アスリートやボランティア等の大会中の活躍を描くとともに、互いに感謝と労いの雰囲気を醸成するオープニング映像



サンドプラス
(株)S A N D + 今井 ミカ氏



オープニング映像イメージ

2 各式典プログラムの内容について 選手団入場 **2**

開会式

- プラカーダーは、きこえない、きこえにくい子供ときこえる子供やボランティアの共働で実施
- 会場の大型ビジョンには、国旗およびきこえない、きこえにくい子供による国名の国際手話を投影
- プラカードは、「桜の花びら」をモチーフにしたプラカードを着用し、バンダナとのコーディネートで統一感を演出
- きこえない、きこえにくい人ときこえる人たちの阿波踊りで、「目」と「振動」の2つの感覚で楽しめる演出
※東京都立中央ろう学校、渋谷区立原宿外苑中学校



閉会式

- 日本の伝統芸能による入場者の呼び込み
- 伝統芸能に迎えられ、旗手とplaカードャーが入場

2 各プログラムの内容について 挨拶、宣言 3



開会式

- 式典開始の辞、歓迎の辞、祝辞、開会宣言等を実施
- 式典開始の辞、開会宣言は国際手話で行う想定

閉会式

- 式典開始の辞、ご挨拶、閉会宣言等を実施
- 式典開始の辞、閉会宣言は国際手話で行う想定



開会式

- フラッグベアラーは、きこえない、きこえにくい子供ときこえる子供(※)の協働で実施
 - 自衛隊によるデフリンピック旗の掲揚
 - デフリンピックの音楽に合わせてデフリンピック旗を掲揚
- ※明晴学園（品川区）、渋谷消防少年団

閉会式

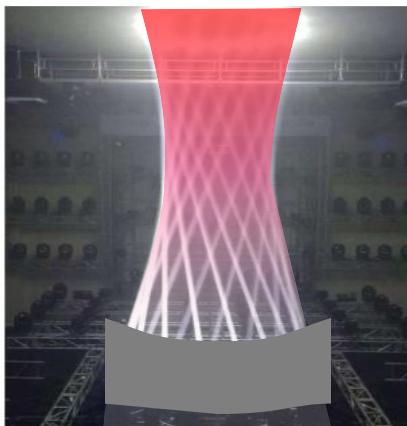
- 自衛隊によるデフリンピック旗の降納
- フラッグベアラーは、ボランティアにて実施
- デフリンピック旗は、全日本ろうあ連盟理事長からICSD会長へ返還



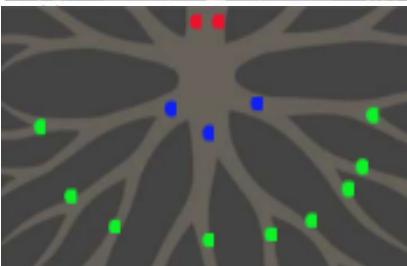
開会式

- 全国各地の盛り上がりや皆の想いを、開会式会場につなぎます。
- 一人ひとりの想いを水に見立てて、そのエネルギーを大地から根が吸い上げ桜を咲かせます。
- ランナーは、デフスポーツやパラスポーツの功績者等(※)が担い、デフスポーツの光をつないでいきます。
※茨 隆太郎氏、亀澤 理穂氏、谷 真海氏ほか (詳細は別紙参照)

【炬火の演出】



- ・炬火台は「桜の幹」を表現
光で「満開の桜」を演出



- ・床面LEDに「木の根」を投影し、選手たちはここに沿ってリレー
 - ・各ランナーの立ち位置
- 最終ランナー 第2ランナー 第1ランナー

【トーチ】

- ・選手たちの努力や選手へのエールを「桜」に
注がれる「水」で表現



第1・第2ランナー用
トーチ



最終ランナー用
トーチ



2 各プログラムの内容について 選手・競技役員宣誓 6



開会式

○選手・競技役員宣誓は、国際手話で実施
※詳細は別紙参照

2 各プログラムの内容について 国旗掲揚/国歌斉唱 7

開会式

- 自衛隊による国旗掲揚
- フラッグベアラーは、きこえない、きこえにくい子供ときこえる子供(※)の協働で実施
※明晴学園（品川区）、原宿交通少年団
- 日本手話言語と歌唱による国歌斉唱



手話表現者
江副 悟史 氏



歌唱者
一青 窓 氏

2 各プログラムのについて アーティスティックプログラム 8



開会式

- 演出家において、アーティスティックプログラム～100年の1日～と小タイトルを考案
- 演出家が得意とするコンテンポラリーダンスによって、コミュニケーションを楽しむことを表現
- 過去・現在・未来の時間軸を想起させながら、きこえない、きこえにくい人ときこえる人の交流を描く
- シーン①過去 デフリンピックが始まった100年前や、きこえない、きこえにくい人の希望への道のりを表現
- シーン②現在 現代都市東京の華々しさ、多様性などを表現
- シーン③未来 きこえない、きこえにくい人ときこえる人とが、一緒にユニゾンダンスで大団円のフィナーレ

閉会式

- 親しみやすい振付で構成された盆踊りにより、選手たちが感動や喜びを分かち合う

【演出家】



きこえない人
大橋 弘枝



きこえる人
近藤 良平

【ステージパフォーマー・客席パフォーマー】



ステージパフォーマー：近藤氏のダンスカンパニーのプロダンサーと一緒に、オーディションで選ばれた、きこえない、きこえにくい人ときこえる人(子供や障害のある方等)で共に創り上げます。

客席パフォーマー：オーディションで選ばれたメンバーを客席にも配置し、一体感を醸成します。

第一ランナー

氏名	きこえない/きこえる	プロフィール等
高畠美優治	きこえない	世界ろう者冬季体育大会（現・冬季デフリンピック）に8回出場したレジェンド選手であり、長年にわたり北海道を代表して活躍され、現在は日本ろう者スキー協会アルペンスキーチームの強化スタッフとして後進の育成に次世代の育成に尽力されている。
浅利 義弘	きこえない	1985年ロサンゼルス夏季デフリンピックに男子バレーボール選手として出場され、銀メダルを獲得。引退後は全日本ろうあ連盟役員や東北ろうあ連盟長、青森県ろうあ協会事務局長を歴任される等、デフスポーツとろうあ運動の「文武両道」を体現された第一人者である。
幾島 政幸	きこえない	1973年マルメ夏季デフリンピックに卓球選手として初出場され、全種目で金メダルを獲得された。その後も6大会連続で出場され、通算18個の金メダルと3個の銀メダルを獲得という輝かしい成績を収めている。選手としてご活躍される傍ら、ろう学校卓球部や後進のデフ選手への指導にも熱心に取り組まれ、日本におけるろう者卓球競技の発展に大きく貢献された。これらの功績は極めて顕著であり、デフスポーツの振興と後進の育成に寄与されたその姿は、デフ選手や子どもそして多くの人々の模範となる。

第一ランナー

氏名	きこえない/きこえる	プロフィール等
藤信 美紀	きこえない	高校から大学までの7年間、陸上競技のデフリンピック選手をめざしていたが、怪我やスランプなどの事情で断念し、大学で引退。現在はデフバドミントン競技を続けられる傍ら、ろう学校の体育教師として、障害を持つ子どもたちや保護者、教員へデフ競技やデフリンピックへの理解促進に尽力されている。
小島 克仁	きこえない	デフバレー選手としてデフリンピックを目指し仲間と共に日々努力すると同時に協会役員としても尽力し、スポーツのみならず多方面で長年に渡り活躍した。現在、自身がデフリンピック代表となった時の経験を活かし、精力的に後進の指導や育成に力を注ぎ、デフスポーツ発展に寄与している。
清田 廣	きこえない	きこえない人が直面する社会的差別をなくすため、長年にわたり、大阪聴力障害者協会や近畿ろうあ連盟の役員を歴任し、搖るぎない信念の元に手話通訳者の養成や福祉施設建設などに献身的な尽力をされた。現在は、大阪デフスポーツ・サポート委員会の相談役をされる等、多くの人々に勇気と希望を与え続けている。

第一ランナー

氏名	きこえない/きこえる	プロフィール等
戸羽 伸一	きこえない	1985年ロサンゼルス夏季デフリンピックに男子バレーボール選手として出場され、銀メダルを獲得した。引退後はろうあ運動に取り組み、鳥取県聴覚障害者協会理事や中国地区ろう連盟理事長等を歴任され、卓越したリーダーシップを發揮することで、ろう者の地位向上と社会参加の促進に多大な貢献をされている。
竹島 春美	きこえない	1981年ケルン夏季デフリンピック、1985年ロサンゼルス夏季デフリンピック、1989年クライストチャーチ夏季デフリンピックに卓球女性選手として出場。3大会とも女子個人戦1位となり、日本卓球女子初めてとなる金メダルを獲得した。引退後は、高知県聴覚障害者協会会長や四国ろうあ連盟の役員を歴任され、ろう者の地位向上と社会参加の促進に多大な貢献をされている。
島尻 寛俊	きこえない	1973年のマルメ夏季デフリンピックに陸上競技選手として出場され、三段跳びで4位入賞という成績を収めた。その後、1977年、1981年、1985年の大会はバレーボール選手として出場し、1985年大会では銀メダルを獲得されるなど、4大会にわたって輝かしい功績を残した。全国ろうあ者体育大会でも男子バレーボールで6年連続優勝という偉業を達成した。また、選手引退後も、沖縄県聴覚障害者協会バレーボール部の監督として、九州ろうあ者スポーツ大会で10連覇を達成されるなど、県内の障害者スポーツ発展と後進の育成に大きく貢献された。

第二ランナー

氏名	きこえない/きこえる	プロフィール等
鈴木リヲ子	きこえない	日本選手初のメダルアスリート（1965年夏季大会（ワシントン）卓球銀メダル）
伏見 景子	きこえない	日本冬季選手初のメダルアスリート（1999年冬季大会（ダボス）アルペンスキー銀メダル）
谷 真海	きこえる	パラリンピック4大会出場。東京2020大会パラリンピック日本代表選手の旗手。2013年、IOC総会にて東京2020大会招致の最終プレゼンテーションのスピーチを行い、招致に大きく貢献した。

最終ランナー

氏名	きこえない/きこえる	プロフィール等
茨 隆太郎	きこえない	2009年から4大会連続出場しており、東京2025大会も出場すれば5大会。なお、これまで金メダル5個、銀メダル8個、銅メダル4個を獲得しており、総獲得総数は17個。また、ICSDスポーツマン・ウーマン賞受賞者である。
亀澤 理穂	きこえない	2009年から4大会連続出場しており、東京2025大会も出場すれば5大会。これまで、4大会で銀メダル3個、銅メダル5個を獲得しており、総獲得総数は8個。また、東京2025大会ポスターにモデルとして起用されている。

開会式

○選手宣誓、競技役員宣誓とも国際手話で実施

選手宣誓

氏名	きこえない/きこえる	プロフィール等
山田 真樹	きこえない	2017年から2大会続けて出場しており、金メダル2個、銀メダル1個を獲得しており、海外でも知名度がある。また、東京2025大会啓発周知ポスターにモデルとして起用されている。
星野 萌	きこえない	星野選手は筑波技術大学に在籍され、子どもたちにデフスポーツやテコンドーの魅力を伝える活動をされている。また、テコンドーは日本選手団初出場の競技の一つであるが選手は星野選手1名のみ。今後、日本でもデフテコンドーについて周知促進、更なる選手の発掘や育成につながる効果を期待したい。